

目的：建設機械から排出されるCO2の削減

対象：次の1、2を同時に満たすもの

1. オフロード法排出ガス2014年基準等に適合するもの。
2. 燃費基準を達成する油圧ショベル・ホイールローダ・ブルドーザ・ホイールクレーン

概要：燃費性能の優れた建設機械の認定を行い、燃費基準達成建設機械の普及促進を図るとともに、建設機械メーカー及び建設業者による自発的な活動の実施を促進するもの。

■認定制度の対象とする建設機械

CO2排出寄与率の高い

- ・油圧ショベル(0.085m3以上1.7m3未満)
- ・ブルドーザ(19kW以上300kW未満)
- ・ホイールローダ(40kW以上230kW未満)
- ・ホイールクレーン(最大吊り荷重4.9ton以上79ton未満) (平成28年度新規追加)

の4機種(建機全体の約75%)を、燃費基準の対象とする。(ホイールクレーンについては、平成34年4月より認定開始)

■燃料消費量評価値の測定方法

上記4機種の測定方法はJCMAS※試験(それぞれJCMAS H020(油圧ショベル)、JCMAS H021(ブルドーザ)、JCMAS H022(ホイールローダ)、JCMAS H023(ホイールクレーン))によるものとする。

※JCMASとは、国家規格であるJISを補完するものとして、一般社団法人日本建設機械施工協会が定める建設機械分野における団体規格。

【参考】

JCMAS H020(油圧ショベル) : http://www.jcmanet.or.jp/jcmas/pdf/H020_2010.pdf

JCMAS H021(ブルドーザ) : http://www.jcmanet.or.jp/jcmas/pdf/H021_2010.pdf

JCMAS H022(ホイールローダ) : http://www.jcmanet.or.jp/jcmas/pdf/H022_2010.pdf

JCMAS H023(ホイールクレーン) : <http://www.jcmanet.or.jp/wp-content/uploads/2016/09/c22d4020b523857f56b0c95361428015.pdf>

■燃費基準値の設定

油圧ショベル、ブルドーザ、ホイールローダ、ホイールクレーンのトップランナー値を、2020年燃費基準値に設定した。

●油圧ショベル

標準バケット山積容量(m3)	燃費基準値(kg/標準作業)	標準バケット山積容量(m3)	燃費基準値(kg/標準作業)
0.085~0.105	2.0	0.25~0.36	4.3
0.105~0.130	2.1	0.36~0.47	6.4
0.130~0.150	2.6	0.47~0.55	6.9
0.150~0.200	2.8	0.55~0.7	9.2
0.200~0.250	3.2	0.7~0.9	10.8
		0.9~1.05	13.9
		1.05~1.3	13.9
		1.3~1.7	19.9

●ブルドーザ

定格出力(kW)	燃費基準値(g/kWh)
19~75	568
75~170	530
170~300	508

●ホイールローダ

定格出力(kW)	燃費基準値(g/t)
40~110	21.3
110~230	27.9

●ホイールクレーン

最大吊り荷重(ton)	燃費基準値(kg/h)
4.9~15	3.05
15~25	4.73
25~50	4.73
50~79	8.19

平成28年度新規追加
平成34年4月より認定開始

■燃費基準達成状況に応じた☆の設定

燃費基準を達成した建設機械の認定を行い、燃費基準の達成状況に応じて☆☆☆と☆☆を設定する。

☆の認定 { 燃費基準達成率 100%以上 ☆☆☆
燃費基準達成率 85%以上 ☆☆



▲燃費基準達成建設機械認定ラベル



▲燃費基準85%達成建設機械認定ラベル